

## 平成28年度第1回幕別町創生総合戦略審議会 議案

日時 平成28年7月29日(金)  
午後6時30分  
場所 幕別町役場庁舎3-A B会議室

〔会議次第〕

1 開会

2 会長挨拶

3 議事

(1) 幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 資料1・参考資料1

(2) 幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部見直しについて 資料2

4 閉会

次回開催予定 平成28年 月

(政策推進課)

## 平成27年度末(2016)の住民基本台帳における人口動態

### 1 直近10年間の年度末人口(住民基本台帳人口)

年度	幕別地区	札内地区	忠類地区	幕別町	前年比	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	自然増減 +社会増減
H18	6,866	18,747	1,832	27,445	-37	203	228	-25	1,197	1,215	-18	-43
H19	6,781	18,778	1,784	27,343	-102	200	236	-36	1,069	1,146	-77	-113
H20	6,690	18,934	1,740	27,364	21	176	266	-90	1,080	974	106	16
H21	6,609	19,019	1,710	27,338	-26	185	261	-76	994	953	41	-35
H22	6,492	19,280	1,689	27,461	123	193	253	-60	1,154	974	180	120
H23	6,407	19,452	1,698	27,557	96	208	239	-31	1,123	992	131	100
H24	6,301	19,672	1,674	27,647	90	177	285	-108	1,115	973	142	34
H25	6,173	19,838	1,654	27,665	18	194	292	-98	1,181	1,072	109	11
H26	6,086	19,901	1,609	27,596	-69	172	289	-117	1,124	929	195	-78
H27	5,921	19,852	1,575	27,348	-248	177	296	-119	986	1,118	-132	-251

### 2 (1)幕別町人口ビジョンから推計した2016推計値との比較(地区別)

地 区	推計値(人) A	実人数(人) B	達成率(B/A)
札内市街地	18,536	18,491	99.76%
幕別市街地	4,062	4,002	98.52%
忠類市街地	1,121	1,110	99.02%
幕別札内農村地域	3,222	3,280	101.80%
忠類農村地域	466	465	99.79%
合 計	27,407	27,348	99.78%

※推計値は幕別町人口ビジョンにおける将来展望の2015→2020の値を5年均等割で推計したもの

### 2 (2)幕別町人口ビジョンから推計した2016推計値との比較(年齢別)

年 齢	推計値(人) A	実人数(人) B	達成率(B/A)
年少人口(0～14歳)	3,561	3,531	99.16%
生産年齢人口(15～64歳)	15,940	15,689	98.43%
老年者人口(65歳以上)	7,906	8,128	102.81%

※推計値は人口ビジョンにおける将来展望の2015→2020の値を5年均等割で推計したもの

### 3 自然動態

(1)平成 27 年度における出生者数(H27.4 月～H28.3 月届出 地区別は住民基本台帳上) 177人

地区別：幕別市街地 16 人、札内市街地 139 人、忠類市街地 4 人、幕別札内農村地区 18 人、 忠類農村地区 0 人

(参考) 5 歳階級別出産年齢

	女性人口 (H27 平均値)	出生数
15～19 歳	691 人	1 人
20～24 歳	542 人	15 人
25～29 歳	501 人	38 人
30～34 歳	701 人	66 人
35～39 歳	890 人	46 人
40～44 歳	1,010 人	10 人
45～49 歳	915 人	1 人

平成 27 年度期間別合計特殊出生率 1.37

### 4 社会動態

(1) 平成 27 年度における転入元と転出先の人口動態の比較

転入元 984 人			転出先 1,096 人	
帯広市	311 人		帯広市	410 人
管内町村	287 人		管内町村	229 人
札幌市	98 人	→	札幌市	144 人
管外市町村	141 人		管外市町村	134 人
その他	147 人		その他	179 人

(2) 平成 27 年度における年代別の転入人口と転出人口

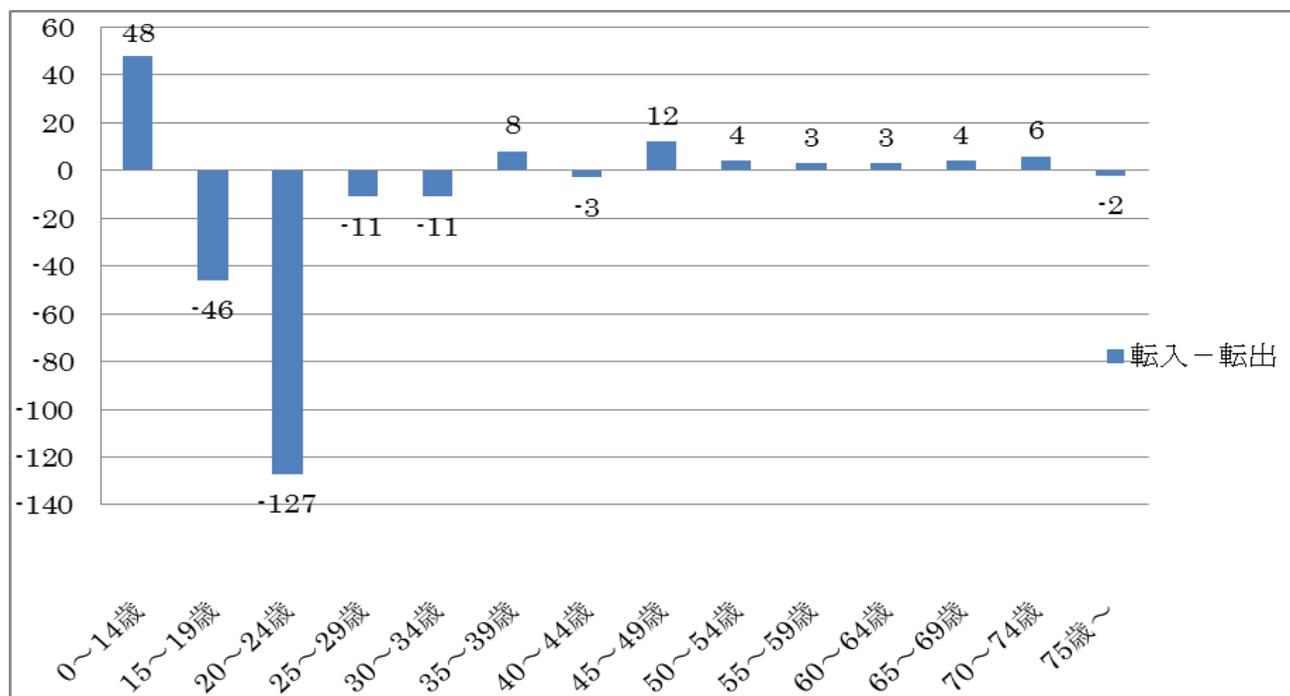


図1 平成 27 年度社会動態 (転入 - 転出)

年齢	0～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～
転入者	<b>140</b>	35	110	149	123	<b>114</b>	68	<b>53</b>	<b>39</b>	<b>40</b>	<b>25</b>	<b>29</b>	17	42
転出者	92	<b>81</b>	<b>237</b>	<b>160</b>	<b>134</b>	106	71	41	35	37	22	25	11	44

## 幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度報告書）

### I 『総合戦略』の概要

- ・実施期間は、2015(平成27)年度～2019(平成31)年度の5年間です。この戦略の取組が終了した2060年に総人口19,457人(住民基本台帳人口)を維持することを目標とします。
- ・「総合戦略」の内容の検証は、各事業担当部署が取りまとめた実施結果及び担当部署としての検証結果をもとに、「幕別町創生総合戦略審議会」で検証を加え、そこでの検証をうけて、各事業担当部署において必要に応じて見直しを行い、翌年度以降の事業実施に反映させることとします。これにより、「計画(P)－実施(D)－検証(C)－見直し(A)」というPDCAサイクルを基本に取組内容を推進します。
- ・基本目標ごとに設定している「数値目標」、施策ごとに設定している「重要業績評価指標(KPI)」の進捗等についても、見直しを行ううえでの参考とします。

### 国の総合戦略の「基本目標」と幕別町の「基本目標」

#### ～ 国の基本目標 ～

- 1 地方における安定した雇用を創出する
- 2 地方への新しい人の流れをつくる
- 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

#### ～ 幕別町の基本目標 ～

- 1 産業の振興と雇用の場をつくる
- 2 十勝・幕別への人の流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 安全・安心で快適な暮らしができるまちをつくる

## II 内容の進捗状況

### 基本目標 1 産業の振興と雇用の場をつくる

数値目標	基準値(H26年度)	目標値(H31年度)	進捗状況(H27年度)
農業収入額	238億円	240億円	261億円
製造品出荷額	157億円	159億円	(速報値)153億円
従業者数	9,244人	9,300人	—
事業所数	1,100事業所	1,100事業所	—

#### 施策 1 農業の生産性の向上と経営の安定化

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	担い手が安心して農業に取り組むことができるよう、経営の安定化と所得の確保、農業生産の維持強化に努めます。
<b>◆ICT導入戸数</b> 0戸(H26)→50戸(H31)      H27:0戸	<b>《取り組み内容》</b> ①農業ICT化推進事業《新規：H30～》【担当：農林課】 ②農業経営安定化支援事業《新規：実施年度未定》【担当：農林課】 ③家畜ふん尿バイオマス発電の検討《検討：H28～》【担当：農林課】 ④ふるさと土づくり事業《継続：H27～》【担当：農林課】 ⑤ゆとりみらい総合資金貸付事業《継続：H27～》【担当：農林課】 ⑥有害鳥獣駆除事業《継続：H27～》【担当：農林課】
<b>◆農地利用集積面積</b> 2,098ha(H26)→2,200ha(H31)      H27: 2,180ha	
<b>◆農業生産法人数</b> 39法人(H26)→44法人(H31)      H27:46法人	

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
① —	—	—	—
② —	—	—	—
③ —	—	—	酪農家へのアンケート・ヒアリング調査、勉強会、消化液・再生敷料の利用について検討
④611戸が取組(H26.11月～H27.10月) 堆肥購入 144戸 堆肥切返し 176戸 緑肥購入 291戸	堆肥及び地力増進作物の支援により、生産性の維持・向上と減農薬、減化学肥料等のクリーン農業の推進に寄与している。	生産性の向上及びクリーン農業の推進は必要不可欠。国や道の施策においても土づくりに対する支援を推進しており、所得安定対策にもつながる事業であるため、引き続き支援を行う必要性あり。	平成27年度と同様に実施
⑤貸付金件数 7件 施設資金3件、農業機械2件、家畜資金2件	低利(0.3%又は無利子)の資金貸付により、他の資金に比べ金利負担を軽減することが可能。(H27.3.1現在の農業経営基盤強化資金利率0.7%)	農家戸数の減少、農業者の高齢化の進行に対応するため、省力化や低コスト化などに資するICT技術の導入資金の貸付枠の追加を検討する。	平成27年度と同様に実施(貸付利率のみ毎年見直し)
⑥有害鳥獣の捕獲に係る経費に対して報償費に上乘せ(シカ8,000円、キツネ1,000円、カラス・ドバト200円)し、補助金(道補助)を交付。駆除件数 シカ678頭、キツネ261頭 カラス・ドバト1,126羽	農業被害の防止のために有害鳥獣の捕獲を行い、被害額の減少に寄与している。	道補助対象事業であり、実施に際して策定した計画は平成28年度から3ヶ年であるが、補助事業実施は3ヶ年の補償がないため、なくなった場合は、管内状況を検証して見直しを行う。	平成27年度と同様に実施

## 施策2 6次産業化の取組の推進

### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	地場産品を活用した加工製造販売によって、製造業、商業、観光業への取組に発展させ、高付加価値を生み出す6次産業化や農商工連携の取組を支援します。
◆新商品開発取組事業所数 5年間(H27～H31)で5件 H27: 0件	《実施内容》 ①特産品研究開発事業《拡充：H27～》【担当：商工観光課】 ②地域資源ブランド化支援事業の検討《検討：H28～》【担当：農林課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①実績なし	1件あたりの補助額が15万円以内であり、交付の対象は「特産品開発のための調査研究」に限定していたため、補助金の活用がなかった。「補助金交付の対象」と「補助金の額」の拡充を行って、新たな特産品の開発による町の産業振興と販路拡充による安定した事業運営の推進を図る必要がある。	従前の「特産品開発のための調査研究に要する経費」に加え、「パッケージやデザインに係る経費」と「販路拡大のための展示会やセミナー参加などの経費」も交付の対象とし、補助金の上限額も1件当たり150万円に拡充した。	【拡充内容】 補助金上限額：150千円→1,500千円に拡充。
② —	—	—	種食用かぼちゃ、無支柱栽培加工トマトの試験栽培(試験圃)

## 施策3 情報収集活動強化と進出企業に対する支援

### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	積極的に情報を収集し、企業誘致の実現並びに既存企業の育成支援に努めます。
◆新規企業における地元新規雇用者数 5年間(H27～H31)で5件、15人 H27:0件、0人 ※土地開発公社関連のみ	《取り組み内容》 ①企業開発促進事業《拡充：H27～》【担当：商工観光課】 ②商店街活性化店舗開店等支援事業《継続：H27～》【担当：商工観光課】 ③クラウドファンディング(CF)の活用検討《検討：H29～》【担当：商工観光課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①固定資産税11件、投資額2件、 雇用促進1件、工業用地取得1件	企業立地の促進と雇用の増加が図られた。	企業開発促進事業補助金の拡充により、工業団地の土地販売促進を図り企業誘致を促進する。	【拡充内容】 本社機能移転促進補助金を創設するとともに、忠類地域も工業団地内と同様の補助対象区域とした。
②【H27先行型交付金事業】 新規出店件数 1件	商店街の空店舗を利用する新規出店者の負担軽減と商店街の活性化が図られた。	空き店舗情報を収集し、広く情報発信することにより、中心市街地の空洞化を抑制するよう努める必要がある。	平成27年度と同様に実施
③ —	—	—	CF導入に向けた町内の事業資源の掘り起こしと導入に向けた調査・検討を行う。

#### 施策4 農業・自営業の後継者及び新規就業者の確保・育成

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	後継者を確保・育成するための研修の開催や各種活動や交流を支援します。
◆新規就農者数(後継者含む) 5年間(H27～H31)で50人 H27:2人(うち後継者2人)	《取り組み内容》 ①まくべつ農村アカデミー《継続:H27～》【担当:農業振興担当】 ②異業種交流事業《継続:H27～》【担当:農業振興担当】 ③援農協力会補助事業《拡充:H27～》【担当:商工観光課】
◆異業種交流会参加人数 5年間(H27～H31)で500人 H27: 59人	
◆援農協力会雇用者会員数 89人(H26)→110人(H31) H27: 105人	

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①アカデミー研修事業 ・リーダー研修 4人・ニューファーマー研修 5人 ・フロンティア研修 0人・短期研修 10人	短期研修者から、町内で新規就農を目指す人が現れる。	引き続き関係機関と協議しながら、新規就農できるように研修を行っていく必要あり。	アカデミー研修事業 ・リーダー研修 7人、・ニューファーマー研修 3人 ・フロンティア研修 2人・短期研修 9人
②交流人口 59人	交流会のあり方について構成する団体で検討したため、交流会の開催が1回のみとなった。	継続して交流会が開催できるよう支援を行う。	・交流会 既開催1回79人 ・開催計画未定(今後協議予定)
③援農協力会に対する補助	農業生産における労働力の安定確保が図れた。	労働環境の改善に対する支援についての検討を行う。	平成27年度と同様に実施

#### 施策5 従業員の福祉の向上

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	非正規職員をはじめとした従業員の福祉の向上を図ります。
・加入事業者所数 127事業所(H26)→140事業所(H31) H27:145事業所	《取り組み内容》 ①中小企業退職金共済制度加入促進事業《新規:H27～》【担当:商工観光課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①【H27先行型交付金事業】 補助件数78件(中退共66件、特退共12件) 加入事業者数 145社 加入者数 847人	事業者へ退職金共済掛金の一部を補助することにより、負担軽減に効果があり、従業員の福祉の向上にも繋がった。	中小企業退職金共済制度への加入は、従業員の福祉の向上につながることから、制度の周知に努める必要あり。	平成27年度と同様に実施

## 基本目標 2 十勝・幕別への人の流れをつくる

数値目標	基準値(H26年度)	目標値(H31年度)	進捗状況(H27年度)
観光客入込数	56万人	62万人	(4月～9月)35.6万人 ※参考 H26同時期 37.7万人
定住人口	80人(H24～H26平均)	5年間で500人	104人

### 施策 1 地域資源の発掘と情報発信力の強化

#### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	地域資源を活かした観光の仕組みづくりを構築するとともに、魅力ある情報を発信します。
<p>◆ゆるキャラ PG 大会参加 0体(H26)→15体(H31) H27:未実施</p> <p>◆地域おこし協力隊 0人(H26)→1人(H31) H27:未実施</p> <p>◆イベント来場者数 53,500人(H26)→59,000人(H31) H27:54,700人</p> <p>◆忠類道の駅周辺利用者数 35万人(H26)→39万人(H31) H27:36.2万人</p>	<p>《取り組み内容》</p> <p>①パークゴルフ発祥の地PR事業《拡充：H30～》【担当：生涯学習課】</p> <p>②地域おこし協力隊の活用《新規：H28～》【担当：政策推進課】</p> <p>③各種イベントの開催《継続：H27～》【担当：商工観光課・地域振興課】</p> <p>④広域観光推進事業《継続：H27～》【担当：政策推進課】</p> <p>⑤忠類地域魅力発信事業《新規：H27～》【担当：地域振興課】</p> <p>⑥ナウマン公園遊具整備事業《新規：H28～H29》【担当：経済建設課】</p>

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①・中高生部門 12人 ・家族部門（小学生と両親等）11組 22人 ・一般部門（夫婦等）13組 26人	パークゴルフを通じて世代間の交流と発祥の地のPRを深めることができた。	主に若年層の参加者を増やすために更なる広報活動が必要。	平成27年度と同様に実施
② —	—	—	H29年度からの実施に向けた庁内関係部署・関係期間との検討
③(1)まくべつ夏フェスタ(7月) (2)忠類ふるさと盆踊り(8月) (3)幕別町夏まつり盆踊り大会(8月) (4)まくべつ産業祭り(10月) (5)忠類どんとこいむら祭り(10月) (6)忠類ナウマン全道そり大会(2月)	町内外からの来場による地域活性化と町の魅力の情報発信が図られた。	地域資源の発掘と情報発信力の強化を図る必要あり。	平成27年度と同様に実施
④十勝19市町村による定住自立圏構想での取組	情報の提供は行われているが、事業の具体化は進捗していない	関係部署・関係機関との具体化に向けた検討	関係部署・関係機関との具体化に向けた検討
⑤【H27先行型交付金事業】 ・道の駅・忠類東側に花壇の整備及び誘導看板を整備 ・ナウマンぞうり卓球大会の実施 ・忠類の特産物である「どろぶた」を活用したメニューの開発とPR活動の実施 H27道の駅及び周辺施設利用者数:362,226人	利用者が8,441人、計画値3,500人に対して2.4%増加し、道の駅周辺の賑わいづくりには効果があった。	H27は高規格道路開通に伴う効果もあることから、H28以降の利用者数の増加及び維持には、継続して魅力発信する必要がある。	・道の駅・忠類東側の花壇増設 ・ナウマンぞうり卓球大会の実施 ・道の駅のPR活動及び地域特産品や店舗のPR実施

<p>⑥H27年度：事業なし H28年度の事業実施に向け、地元の子ども達から魅力ある遊びたい遊具について意見徴収。</p>	<p>忠類小児童と町職員で、ナウマン公園に設置する遊具について意見交換会を実施、その結果を遊具選定に反映することができた。</p>	<p>魅力ある遊具がある楽しい公園として、町内外から多くの親子連れを誘引する。 【誘引策】 ①更別村と互いの公園を紹介する看板を設置（更別村教委と協議中） ②町内外の小学校訪問・マスメディアを活用したPR活動の展開 他に、今後設置予定の親水施設築山滑り台に対する子どもたちとの意見交換会の実施。</p>	<p>【新規内容】 遊具4基設置（ネット遊具、ローラー滑り台（L=40m）、ザイル遊具（H=9m）、4連ブランコ各1基）、他にシュルター3基設置 親水施設を利用した築山滑り台1基について、現在、実施設計調査中。</p>
---	---	---	---

**施策2 都市農村交流等の交流人口の増加促進  
P～プラン(計画)の内容**

<p>《施策の目標(KPI)》</p> <p>◆参加農家戸数 46戸(H26)→50戸(H31)      H27: 43戸</p> <p>◆観光プラン数 5年間(H27～H31)で6件      H27:未実施</p>	<p>修学旅行生を対象とした体験型の農家民泊の受入など交流人口の増加を図ります。</p> <p>《取り組み内容》</p> <p>①農村ホームステイ事業《継続：H27～》【担当：農林課・商工観光課】 ②体験型・滞在型観光事業《継続：H27～》【担当：商工観光課・地域振興課】 ③小学生交流事業《継続：H27から隔年》【担当：生涯学習課】</p>
--	---

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
<p>①農家民泊での修学旅行生の受入 合計(3回) 参加者 117名 参加戸数 43戸(累計)</p>	<p>都市農村交流等の交流人口の増加促進に寄与した。</p>	<p>更なる受入農家の確保が必要である。また、農家自身が受入事業の趣旨を強く理解すべきである。</p>	<p>平成27年度と同様に実施</p>
<p>②旅行閑散期を対象として、幕別町内の宿泊施設の宿泊代金の一部を助成する旅行商品を企画、広告、販売及びアンケートの集計業務を旅行業者へ委託</p>	<p>閑散期等の町内宿泊施設の宿泊代金を助成することにより、町内への旅行消費を喚起し、交流人口の増加による地域の活性化が図られた。</p>	<p>更なる都市農村交流等の交流人口の増加促進が必要である。</p>	<p>平成27年度単年度事業として実施したが、課題などを整理し今後も実施に向け検討する。</p>
<p>③【上尾市】 小学5～6年生 14人 【中土佐町・開成町】 小学5～6年生 20人</p>	<p>【上尾市】 都会で様々な活動をし、文化・歴史・生活の違いに直接触れることが出来、子供達の視野も広がった。 【中土佐町・開成町】 派遣先の文化や歴史、風土の違いに直接触れる事で、視野を広げることが出来た。</p>	<p>【上尾市】 研修生の確保と幕別町子ども会連絡協議会への支援の充実。研修生の確保と幕別町子ども会連絡協議会への支援の充実。 【中土佐町・開成町】 研修成果の活かし方。</p>	<p>派遣・受入を隔年で実施しており、H28は受入年のため、派遣はなし。</p>

施策3 移住・定住対策の実施

P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	北海道移住促進協議会等の関係団体と連携し、幕別町の情報発信を実施するとともに移住相談等を通じて、移住・交流人口の増加と定住促進を図ります。 《取り組み内容》 ①移住促進事業《継続：H27～》【担当：住民生活課】 ②マイホーム応援事業《継続：H27》【担当：住民生活課】 ③住宅新築リフォーム奨励事業《拡充：H27～》【担当：商工観光課】 ④忠類分譲地整備事業《新規：H28～》【担当：地域振興課】 ⑤空き家バンクの開設《新規：H28～》【担当：住民生活課】
◆住宅新築件数 5年間(H27～H31)で300戸 H27:72戸 ◆移住件数 5年間(H27～H31)で30件 H27:37戸	

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①【H27先行型交付金事業】 相談件数 4件	移住相談ワンストップ窓口で、移住に関する各種問い合わせへの対応や移住体験の受付手続きを行った。	移住希望者が短期滞在に利用できるお試し体験住宅の活用のほか、空き家の活用と組み合わせた事業を検討する。	平成27年度と同様に実施
②【H27先行型交付金事業】 新築住宅取得件数 59件 中古住宅取得件数 13件 ・地区別 札幌市街 59件、幕別市街 6件、 忠類市街 3件、農村部 4件 ・うち転入による人口増 37件 104人 札幌市街：32件 95人、幕別市街 2件 3人、 忠類市街 1件 3人、農村部 2件 3人	申請者の8割が札幌市街地と定住地域に偏りがある	事業内容の見直しを検討し、次年度の制度設計に反映させる。	平成27年度と同様に実施 次年度の制度設計に向けた検討
③新築 7件 リフォーム 94件 (H22～H27累計) (新築 103件) (リフォーム 370件)	町内の住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化が図られるとともに、奨励金を幕別町商工会発行の商品券を交付することにより、町内の消費拡大が図られた。	奨励事業の周知の徹底及び町内事業者への登録周知が必要である。	【拡充内容】 対象工事を50万円以上から30万円以上に引下げ、通算1回を同一年度内1回に拡充
④ —	—	—	【新規内容】 民間賃貸住宅建設促進事業助成金 用地確定測量、地質調査、分譲地歩道設計 分譲地造成工事、分譲地歩道整備工事、給水管設置工事、污水管設置工事、消火栓移設工事
⑤ —	—	—	本年度から空き家バンクを開設するための調査等を実施。道の空き家バンクとの連携体制等の構築。

### 基本目標3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値(H26年度)	目標値(H31年度)	進捗状況(H27年度)
出生者数	170人	220人	177人
合計特殊出生率	1.46(H20~H24)	1.55	1.37

#### 施策1 結婚支援

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	企業・団体間のネットワーク構築による出会い・交流の場を確保し未婚化や晩婚化の改善に努めます。
◆カップリング数 5年間(H27~H31)で10組 H27:4組	《取り組み内容》 ①結婚を希望する若者支援事業《拡充：H27～》【担当：農業振興担当(農業者部門)、政策推進課(全体に関する部門)】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①【農業部門】 成婚数4組(町内全体10組)	【農業部門】 成婚数4組と現状・目標を上回った。 過去に開催した交流会がキッカケとなっており、単年度だけでなく長年にわたる取り組みが結果となっている	【農業部門】 今後も継続して、交流会の開催等、交流の場を提供する	【農業部門】 交流会 町単独開催 5回 他町村共催 1回

#### 施策2 出産希望者に対する支援

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	妊娠・出産に安心して取り組めるような支援を図ります。
◆一般不妊治療人数 0人(H26)→30人(H31) H27:未実施	《取り組み内容》 ①一般不妊治療費用助成事業《新規：H28～》【担当：保健課】 ②特定不妊治療費用助成事業《拡充：H27～》【担当：保健課】 ③妊婦訪問事業《新規：H27～》【担当：保健課】 ④妊婦健診費用助成事業《継続：H27～》【担当：保健課】
◆特定不妊治療件数 10人(H24~H27平均)→15人(H31) H27:12人	
◆妊婦相談実施率 100%(H26)→100%(H31) H27:100%	

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
① —	—	—	【新規内容】 タイミング療法・ホルモン治療・人工授精等の不妊治療費用に対し、3年間助成(年5万円上限)
②特定不妊治療助成者12人に対し延べ16回助成	・採卵、顕微授精に係る費用が高額。 ・特定不妊治療に係る男性の治療費も高額のため治療を諦める場合がある。	・助成額の上限を15万円に引き上げ。 ・特定不妊治療に係る男性の治療費についても、上限7万5千円を助成する。	【拡充内容】 助成金の上限額を15万円に引き上げ。
③妊婦相談率100% 対象者127人に対し、訪問は105人。訪問できなかった22名には、電話等で相談。	・初産婦に対し、出産時の具体的準備について、一緒に考えることが可能。 ・経産婦に対し、入院中の兄弟の対応について相談可能。 ・予定日より1カ月前に連絡していたが、すでに出産しているケースがあった。	里帰り出産の方も増えていることから、早めに訪問調整し、34週頃に訪問できるようにする必要がある。	平成27年度と同様に実施
④166人に助成	医療保険分の自己負担額が対象外のため1人平均10,640円となっており、昨年度に比べ5000円程減額している。	平成29年度に向けて、助成の内容について検討を行う必要がある。	平成27年度と同様に実施

### 施策3 子育て世代の負担軽減

#### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	子育て世代の経済的負担を減らすことにより、安心して子どもを産み育てる環境を整えます。
◆合計特殊出生率 1.46(H26)→1.55(H31) H27:1.37 ※H26はH20～H24の平均値	《取り組み内容》 ①認可保育所における主食提供事業《新規：H28～》【担当：こども課】 ②義務教育教材費補助事業《新規：H28～》【担当：学校教育課】 ③こども医療費の助成事業《拡充：H27～》【担当：住民生活課】 ④マイファーストブックサポート事業《継続：H27～》【担当：図書館】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
① —	—	—	【新規内容】 3歳以上の主食提供事業を開始。 スチームコンベクション、食器(455個)、給食ワゴン(15台)、炊飯器(16台)の整備
② —	—	—	予算措置がないため該当なし
③ H27.10から助成対象を中学生までに拡充し、かつ所得制限を撤廃する。 中学生の無料化(H27末対象者：824人) 所得制限撤廃分(H27末対象者：87人)	子どもたちの健やかな成長と子育て世代の負担軽減に十分寄与している。	平成27年10月からの拡充後の内容で事業を継続する。ただし、助成に必要な受給者証交付の未申請者が平成27年度末で17人(1.8%)おり、再勧奨等に努める必要がある。	平成27年10月からの拡充後の事業内容で実施する。
④3会場で合計20回の開催。 絵本プレゼント対象者は200名。 絵本貸出102名(健診会場62名、図書館40名)	乳児検診(7・8か月)後の保護者と図書館のつながりについても検討が必要。	1歳6か月～3歳向け、貸出用絵本5冊セット「おひざでブック」を各館に設置。	乳児検診(7・8か月児)会場でのこれまでの取り組みに加え、1歳6か月児健診会場で、1歳6か月～3歳向け「おひざでブック」の取り組みを周知。

#### 施策4 魅力ある教育環境の整備

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	地域の特色を活かした授業を展開することで生徒数を確保するとともに、小中学校のICT機器を整備し、教育環境の向上を図ります。
◆町内高校入学者数 165人(H25～H27平均)→200人(H31) H27:166人 ※定員数幕別高校(80人→40人)	《取り組み内容》 ①魅力ある高校づくり推進事業《新規：H27～》【担当：学校教育課】 ②学校ICT機器整備事業《新規：H28～》【担当：学校教育課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①【入学者数】江陵高校：(定員普通科80名、福祉科37名)：普通科99名、福祉科21名 幕別高校(定員40名)：31名 分校(定員16名)：15名 ◆町内就職率 江陵高校：8%(9名/109名) 幕別高校：25%(5名/20名) 分校：43%(3名/7名)	少子化の中であっても、入学者の維持・増加を図る必要あり	魅力ある高校づくりを推進するべく引き続き補助金を支出する。	平成27年度と同様に実施
② —	—	—	【新規内容】 ○札内南小：大型TV18台、無線LAN環境整備 ○札内中：大型TV12台、タブレットPC12台、無線LAN環境整備 ○小・中学校校務用PCサーバー12台

#### 施策5 子育て・仕事を両立できる環境づくりの支援

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	子どもの出生状況に応じ施設の整備や職員の確保を図り、待機児童ゼロの維持を図るとともに、企業などの子育てに対する積極的な取組を支援します。
◆待機児童者数 0人(H27～H31) H27:0人 ◆子育て支援取組事業所数 3事業所(H31) H27:未実施 ◆父親の育児参加者数 100人(H27～H31) H27:13人	《取り組み内容》 ①認定こども園の整備《新規：H29～》【担当：こども課】 ②子育て取組企業支援事業《新規：H29～》【担当：商工観光課】 ③子育て相談支援体制の充実《新規：H27～》【担当：こども課・保健課】 ④父親の育児参加の環境整備事業《新規：H27～》【担当：こども課】 ⑤保育所の期間延長《新規：H29～》【担当：こども課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
① —	—	—	整備に向けた検討
② —	—	—	支援策の導入に向けた情報収集・調査・検討
③相談件数 370件	妊娠・子育て期の悩み相談場所として有効である。	次年度についても同様の内容で継続して実施する。	H28よりファミリーサポートセンターを子育て支援センター内に開設し、10月より援助活動を開始予定。
④参加者数 13人(H27)	年3回のうち、開催を日曜→土曜開催に変更するがあまり人数に変動なし。	支援センターの通信等に参加風景等を掲載し、周知を図る。	5月、8月、1月の3回開催予定
⑤ —	—	—	次年度以降に向けた検討

#### 基本目標 4 安全・安心で快適な暮らしができるまちをつくる

数値目標	基準値(H26年度)	目標値(H31年度)	進捗状況(H27年度)
住みやすさに対する満足度	62.0%	70.0%	—

#### 施策 1 地域公共交通の維持・確保

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	地域公共交通としての役割や機能を維持するため、関係機関に働きかけるとともに、コミュニティバスの利便性の向上や予約型乗合タクシーの運行により、住民の生活交通の維持確保を図ります。
◆コミバス利用者数(平均/日) 39.7人(H26)→50人(H31)      H27:44.9人	《取り組み内容》 ①コミュニティバス運行事業《継続：H27～》【担当：防災環境課】 ②予約型乗合タクシー運行事業《継続：H27～》【担当：防災環境課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①乗車数(H26) 日平均 39.7人 →(H27) 日平均 44.9人 利用実態調査 H27.10.01(木) H28.01.18～01.29 調査項目・利用目的、利用頻度、往復利用の有無、乗継手段、導入後の外出機会の増減	利用者数は、幕別・札内両地区合算すると微増状態であるが、幕別地区は減少傾向にある。	幕別地区のニーズ調査を行い、広く住民の要望を把握・検証し、ダイヤ改正等により乗車率の向上を図る。 イベント等でバス車両を展示するなど、PR活動をする。	H27年度末より、日本ハムファイターズ応援大使事業によりバス外部にラッピングを施す他、乗務員がファイターズのユニフォームを着用して(期間限定)業務した。
②延べ乗車数(H26) 948人 →(H27)868人	乗車数は、駒島線で増加傾向も、古舞線では減少。駒島線は住民の高齢化と、タクシー運行事業の浸透が進んできていると思われるが、古舞地区ではあまり知られていないと思われる。	更なるPRが必要。 再度広報紙にてPRする必要がある。	乗合タクシー該当公区にPR用紙を配布し、公区内回覧をしてもらう。(配布は広報紙配布に合わせる。)

## 施策2 防犯・防災体制の構築、防災活動拠点の整備

### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	地域で暮らし続けるための安全・安心な環境づくりを進める。地域の住民の防犯・防災意識を高めるとともに、住民を犯罪や災害から守る危機管理体制の充実を図ります。
◆自主防災組織の人口カバー率 55% (H26)→80% (H31)                      H27: 55.74%	《取り組み内容》 ①防犯灯整備事業《拡充：H27》→ 防犯灯・街路灯 LED 導入事業《新規：H28～》【担当：防災環境課】 ②消費者保護推進事業《新規：H27～》【担当：住民生活課】 ③防災訓練の実施《新規：H27～》【担当：防災環境課】 ④災害用備蓄庫整備事業《新規：H27～》【担当：防災環境課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
① —	町内全防犯灯・街路灯を交換するより、リース事業においてLED化の方が、工事費、維持管理費及び電気料金の削減を図ることが可能。	町内全防犯灯・街路灯をリース事業においてLED化することで、工事費、維持管理費及び電気料金の削減を図る。 (全町内防犯灯・街路灯数 5,248 灯のうち 933 灯は LED 化済)	【新規内容】 札内地区の 1,538 灯を、地域における LED 導入促進補助事業にて調査を実施(取替工事は H29) H30 からリース H28 補助灯数以外(2,777 灯)も、H31 以降リース方式で LED 化を進める。
②相談件数 150 件 救済金額 2,125,266 円	消費者相談のほか幕別町消費者被害防止ネットワーク(20 団体)を設立した	消費者安全法に基づく消費生活センターを設置し、相談時間の延長、夜間相談など相談体制を拡充する。	消費生活センターを設置し相談業務等を実施する
③実施日 1 回 H27.10.18 (日) 札内南小学校を指定避難所とする 7 公区 訓練項目：住民避難、要支援者支援 安否確認、避難所運営	訓練は、公区の自主性を重視した内容で滞りなく実施された。 なお、この訓練を契機として、自主防災組織が未組織であった泉町公区の組織化がなされた。	自主防災組織の組織化率向上のため、今後も公区の自主性を重視した内容で実施することが重要である。	実施予定日 H28.10.23 (日) 対象：幕別北コミセン、農業者トレセン、札内北小学校を指定避難所とする公区を対象として 3 箇所同時開催 訓練項目：住民避難訓練等のほか、災害対策本部の情報伝達訓練も兼ねて行う予定
④【本町地区防災備蓄倉庫】 実施(解体)設計：旧幕別中央会館解体工事 【札内地区防災備蓄倉庫】：実施設計	進捗状況 良好	現時点での計画変更は要しない。 施設完成後は、災害用備蓄品を含めて適正な管理に努める。	本町地区防災備蓄倉庫 札内地区防災備蓄倉庫

## 施策3 住まい・医療・介護・保健予防・生活支援の連携体制の構築

### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、住まい、医療、介護、保健予防、生活支援が一体的に提供できる体制を整備するとともに、認知症の予防に向けた取組を推進します。
◆認知症サポーター数 1,384 人(H26)→2,200 人(H31)                      H27:1,539 人	《取り組み内容》 ①認知症高齢者予防事業《拡充：H27～》【担当：保健課】 ②地域包括支援システムの構築《新規：H27～》【担当：保健課】 ③介護福祉士資格取得費補助事業《新規：H27～》【担当：保健課】
◆生活支援コーディネーター 0 人(H26)→2 人(H31)                      H27:未実施	

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①・出前講座3回(認知症予防内容) ・脳力テスト3回(幕・札・忠) ・予防事業2回 ・推進員ネットワーク研修参加 ・推進員の設置(保健師7名) ・チーム員マニュアル案作成 (十勝管内10市町村共同) ・認知症サポーター養成研修 9回	現状の把握と予防事業を通じて、認知症に対する住民意識の向上に効果あり。 高齢者以外の小学生や事業所等への活動を通じて、地域全体で認知症の早期発見や対応、連携の効果が現れはじめている。	・予防事業の継続 ・認知症ケアパスの作成 ・チームの活動開始 ・ケアパスの周知と合わせて、サポーター養成を企業や地域に行っていく必要あり。	・認知軽度障害の早期発見と予防事業 ・脳力テストと予防事業の実施(幕・札・忠) ・認知症初期集中支援チームの設置 ・認知症地域支援推進員の設置
②・協議体や生活支援コーディネーターの設置に関する研究会を設置 ・生活支援コーディネーター研修の参加	平成29年度実施に向けて社会福祉協議会も交えた研究会の開始。 平成28年度に協議体や生活支援コーディネーターの活動が可能となるよう準備を行うことができた。	高齢者に必要と思われる地域での支援や活動の現状を把握し、地域住民や関係機関の意見を交えて、支援体制を考えていく必要がある。	・生活支援ニーズ調査の実施 ・見守り活動に関するアンケート実施 ・協議体の設置 ・生活支援コーディネーターの配置
③【H27先行型交付金事業】 介護福祉士資格取得者数 5人 うち、町内介護施設就職者1人、町外介護施設就職者2人、介護施設事業所以外就職者1人、進学者1人、	普通科生徒に比べて実習費など経費を要する福祉科生徒の保護者にとって費用の一部助成は保護者の費用負担軽減に効果あり	・本事業については継続が妥当 一方で、高校進学を検討する中学生に対する介護の必要性の周知や介護職に就職後の待遇の向上(経済面や福利厚生)が必要。	平成27年度と同様に実施

#### 施策4 障がい者の自立支援

##### P～プラン(計画)の内容

《施策の目標(KPI)》	障がいのある方に職場体験を通じて、一般就労に繋げるとともに、企業の障がいに対する理解の促進を図ります。
◆障がい者の働く事業所 2事業所(H31) H27:未実施 ◆職場体験者数 15人/年(H27～H31) H27:10人 ◆就労移行者数 3人/年(H31) H27:1人	《取り組み内容》 ①障がい者の働く事業所支援事業《新規:H28～》【担当:福祉課】 ②障がい者職場体験事業《継続:H27～》【担当:福祉課】 ③障がい者チャレンジ雇用事業《継続:H27～》【担当:福祉課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
① —	—	—	役場庁舎内カフェ1カ所(福祉課臨時職員1名が補助)
②【H27先行型交付金事業】 職場体験利用者数 10人 就労移行推進者数 1人	体験事業を通じて異なる職場環境や他者と接する事で仕事意欲が向上する。	通所事業所との連携を向上し、事業の目的を共通理解の上で進めていく必要あり	職場体験利用者数 13人予定
③チャレンジ雇用数 1名 短時間雇用数 1名 結果:1名が一般企業へ障害者枠で就労決定	就労意欲の弱い方を集中的に支援し、意欲向上を図った結果、この事業の目的、一般就労に進むことができた。	チャレンジ雇用で採用の際に、就労への強い気持ち、体調等の確認を十分に行ったうえで事業の対象とする必要がある。	チャレンジ雇用臨時職員 過去2年は短期雇用を含め2人のところを、長期雇用2人を対象として支援

**施策5 住民活動への参加の促進**

**P～プラン(計画)の内容**

《施策の目標(KPI)》	住民をはじめ、公区や企業など多様な主体がまちづくりに積極的に参加できる環境づくりを進めます。
◆協働のまちづくり取組件数 209件(H26)→220件(H31) H27:219件	《取り組み内容》 ①協働のまちづくり支援事業《継続：H27～》【担当：住民生活課】 ②大学と連携したまちの賑わいづくり支援事業《新規：H28～》【担当：政策推進課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
①公区活動支援 1件 公区コミュニティ支援 8件 公区環境美化支業 119件 公区の助け合い活動支援 7件 公区防災活動支援 7件 公区資源回収支援 77件	事業メニューにより偏りがある。	本年度事業内容の見直しを検討し、次年度の制度設計に反映させる。	平成28年度に公区環境美化支援事業のうち、環境美化に町花「しばざくら」普及のための事業を追加する。
② —	—	—	【新規内容】 北海道科学大学と連携したワークショップの開催（1回開催）

**施策6 公共施設等の適切な維持管理**

**P～プラン(計画)の内容**

《施策の目標(KPI)》	公共施設の更新や統廃合、長寿命化を推進するとともに、公共施設や道路、水道など社会基盤の適切な維持管理等に努めます。
◆公共施設等総合管理計画の策定 H27:未実施	《取り組み内容》 ①公共施設等総合管理計画の策定《新規：H28～》【担当：政策推進課】 ②道路、水道など社会基盤の維持管理《継続：H27～》【担当：土木課・水道課】

D～これまでに実施したこと《H27実績》	C～Dに対する検証・評価	A～今後の展開における留意・改善点など	《参考》H28年度取り組み内容
① —	—	—	【新規内容】 公共施設等総合管理計画の策定
②幹線道路・生活道路の整備 道路改良延長 633m 道路舗装延長 840m 歩道新設延長 259m	改良率 70.2% (対前年比 0.1%増) 舗装率 60.5% (対前年比 0.1%増)	引き続き、幹線道路・生活道路の整備を推進する	道路改良延長 604m 道路舗装延長 604m 歩道新設延長 179m 改良率 70.3% (対前年比 0.1%増) 舗装率 60.6% (対前年比 0.1%増)

幕別町まち・ひと・しごと創生総合戦略 新旧対照表

現在	変更後
<p>Ⅲ 今後の施策と主な取組</p> <p><b>基本目標 1</b> 産業の振興と雇用の場をつくる</p> <p>P 10</p> <p style="text-align: center;">具体的な施策及び事業</p> <p>3 情報収集活動強化と進出企業に対する支援 積極的に情報を収集し、企業誘致の実現並びに既存企業の育成支援に努めます。</p> <p>(実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業開発促進事業(拡充)</li> <li>・商店街活性化店舗開店等支援事業(継続)</li> <li>・クラウドファンディング(CF)の活用の検討</li> </ul> <p><b>基本目標 2</b> 産業の振興と雇用の場をつくる</p> <p>P 11</p> <p style="text-align: center;">具体的な施策及び事業</p> <p>1 地域資源の発掘と情報発信力の強化 地域資源を活かした観光の仕組みづくりを構築するとともに、魅力ある情報を発信します。</p> <p>(実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークゴルフ発祥の地PR事業(拡充)</li> <li>・地域おこし協力隊の活用(新規)</li> <li>・各種イベントの開催(継続)</li> <li>・広域観光推進事業(継続)</li> <li>・忠類地域魅力発信事業(新規)</li> <li>・ナウマン公園遊具整備事業(新規)</li> </ul>	<p>Ⅲ 今後の施策と主な取組</p> <p><b>基本目標 1</b> 産業の振興と雇用の場をつくる</p> <p style="text-align: center;">具体的な施策及び事業</p> <p>3 情報収集活動強化と進出企業に対する支援 積極的に情報を収集し、企業誘致の実現並びに既存企業の育成支援に努めます。</p> <p>(実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業開発促進事業(拡充)</li> <li>・商店街活性化店舗開店等支援事業(継続)</li> <li>・クラウドファンディング(CF)の活用の検討</li> <li>・<b>十勝イノベーション・エコシステム構築事業(新規)</b></li> </ul> <p><b>基本目標 2</b> 産業の振興と雇用の場をつくる</p> <p style="text-align: center;">具体的な施策及び事業</p> <p>1 地域資源の発掘と情報発信力の強化 地域資源を活かした観光の仕組みづくりを構築するとともに、魅力ある情報を発信します。</p> <p>(実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークゴルフ発祥の地PR事業(拡充)</li> <li>・地域おこし協力隊の活用(新規)</li> <li>・各種イベントの開催(継続)</li> <li>・広域観光推進事業(継続)</li> <li>・忠類地域魅力発信事業(新規)</li> <li>・ナウマン公園遊具整備事業(新規)</li> <li>・<b>十勝アウトドアブランディング事業(新規)</b></li> </ul>

現在	変更後
<p>P 11</p> <p style="text-align: center;">具体的な施策及び事業</p> <p>3 移住・定住対策の実施 北海道移住促進協議会などの関係団体と連携し、幕別町の情報発信を実施するとともに移住相談等を通じて、移住・交流人口の増加と定住促進を図ります。</p> <p>(実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進事業（継続）</li> <li>・マイホーム応援事業（継続）</li> <li>・住宅新築リフォーム奨励事業（拡充）</li> <li>・忠類分譲地整備事業（新規）</li> <li>・空き家バンクの開設（新規）</li> </ul>	<p style="text-align: center;">具体的な施策及び事業</p> <p>3 移住・定住対策の実施 北海道移住促進協議会などの関係団体と連携し、幕別町の情報発信を実施するとともに移住相談等を通じて、移住・交流人口の増加と定住促進を図ります。</p> <p>(実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進事業（継続）</li> <li>・マイホーム応援事業（継続）</li> <li>・住宅新築リフォーム奨励事業（拡充）</li> <li>・忠類分譲地整備事業（新規）</li> <li>・空き家バンクの開設（新規）</li> <li>・<u>クリエイティブ人材移住促進事業（新規）</u></li> </ul>
<p><b>基本目標 4</b> 安全・安心で快適な暮らしができるまちをつくる</p> <p>P 14</p> <p style="text-align: center;">具体的な施策及び事業</p> <p>2 防犯・防災体制の構築、防災活動拠点の整備 地域で暮らし続けるための安全・安心な環境づくりを進める。 地域の住民の防犯・防災意識を高めるとともに、住民を犯罪や災害から守る危機管理体制の充実を図ります。</p> <p>(実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>防犯灯整備事業（拡充）</u></li> <li>・消費者保護推進事業（拡充）</li> <li>・防災訓練の実施（新規）</li> <li>・災害用備蓄庫整備事業（新規）</li> </ul>	<p><b>基本目標 4</b> 安全・安心で快適な暮らしができるまちをつくる</p> <p>P 14</p> <p style="text-align: center;">具体的な施策及び事業</p> <p>2 防犯・防災体制の構築、防災活動拠点の整備 地域で暮らし続けるための安全・安心な環境づくりを進める。 地域の住民の防犯・防災意識を高めるとともに、住民を犯罪や災害から守る危機管理体制の充実を図ります。</p> <p>(実施事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>防犯灯・街路灯 LED 導入事業（新規）</u></li> <li>・消費者保護推進事業（拡充）</li> <li>・防災訓練の実施（新規）</li> <li>・災害用備蓄庫整備事業（新規）</li> </ul>

P 15

具体的な施策及び事業

5 住民活動への参加の促進

住民をはじめ、公区や企業など多様な主体がまちづくりに積極的に参加できる環境づくりを進めます。

(実施事業)

- ・協働のまちづくり支援事業 (継続)
- ・大学と連携したまちの賑わいづくり事業の検討

具体的な施策及び事業

5 住民活動への参加の促進

住民をはじめ、公区や企業など多様な主体がまちづくりに積極的に参加できる環境づくりを進めます。

(実施事業)

- ・協働のまちづくり支援事業 (継続)
- ・大学と連携したまちの賑わいづくり事業(新規)
- ・図書館を核とした地域づくり事業 (新規)